

# 防災の取組

◎総務課／安心安全係  
☎内線 223



1 / 吉柳岳志大隅河川国土事務所長と尾脇市長 2 / 調印の様子 3 / テレビ会議実証試験の様子



## 防災情報の連携

光ファイバー網の相互接続等に関する協定

3月13日（火）、国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所との間において、「光ファイバー網の相互接続等に関する協定」を締結しました。この協定締結により、大隅河川国道事務所と垂水市役所を繋ぐ専用回線が整備され、国道・砂防等の映像や、雨量等の情報をリアルタイムで把握することができるようになります。災害のおそれがある状況下で、さらに迅速かつ確実な避難情報を発令するための情報を得られます。また、ホットラインによる通話やテレビ会議により、円滑な情報共有が図られます。本協定を踏まえ、情報収集と迅速な意思決定に努め、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

### ◎防災倉庫

場所：垂水中央運動公園体育館横  
整備費：499万4千円  
面積：59.32㎡



stock!  
食料・飲料水、  
簡易ベット等を  
備蓄

### 災害への備え、防災倉庫の設置

災害発生時に備えた、食料、備品等備蓄のため、垂水中央運動公園内に防災倉庫を設置しました。保管場所の狭あい化により、これまで備蓄品を分散させ保管していましたが、防災倉庫の設置により、備蓄の拡充と集中管理が可能となります。今後この倉庫は、必要物資の適正な管理と、避難所等への迅速な供給のため活用してまいります。

## 大切なことは 自分の状態を 知ること。

Tarumizu  
project G  
たるみず元気プロジェクト

第1回「たるみず元気プロジェクトを自分の生き方に生かす」コラム

### 高血圧・心血管機能 × 窪菌琢郎

鹿児島大学大学院  
医歯学総合研究科  
心臓血管・高血圧内科学

昨年度、試行的に行われた“たるみず元気プロジェクト”では、市民の健康チェックでいくつかのことがわかりました。

そこで4回シリーズで担当していただいた大学の先生方にお話をお聞きしました。

第1回目は、まず本市のスーパーバイザー大石充教授（鹿児島大学大学院教授）の研究室の窪菌琢郎先生にお話をお聞きしました。

我が国は超高齢化社会を迎えています。加齢に伴い身体機能や認知機能が低下しますが、心臓や血管の機能も低下していくことが分かっています。心血管機能が低下すると、将来、心不全を発症する危険があります。2017年度に行った“たるみず元気プロジェクト”では、血圧や心電図、血管機能を評価させていただきました。血圧に関して、43%の方が参加時の血圧が高かったのに対し、24時間血圧計で評価すると69%で血圧が高く、一回のみの血圧測定では血圧の評価が不十分であるということが分かりました。血管機能に関しては、実年齢と比較すると血管年齢は比較的若い方が多かったのですが、血管が狭くなっていると予想される方が、375名中25名いらっしゃいました。心電図では、不整脈の一種である心房細動2.4%、心臓機能障害を疑わす所見である完全左脚ブロック1.1%、狭心症などで認めるST変化が6.7%の割合で認められました。これらの結果をもとに、高血圧治療の強化や、心エコー検査を行っていただきご自分の心臓の状態を評価いただいた参加者もいらっしゃいました。2018年度以降も、毎年同様の調査を行っていきます。今回参加された方はもちろん、参加されなかった方も是非参加をお願いいたします。自分の状態を知っていただくとともに、健康増進につなげていきましょう。